

◇編集後記◇

『とい』三一号にも四編を掲載する◇『古事記』に続き、『日本書紀』を読み解く松尾によって、古代社会がおぼろげながら現前する。続編にも期待したい◆日の丸・君が代問題が騒がしい時代であるが、和田は高校教育そのものに果敢に取り組もうとしている◆三・一は世界を一変させたとも言いたいのか、楠瀬は寡黙に、時として饒舌に、詩形を借りて思いを語る◆連載小説戦記は第八章に至り、時代を映す。これからも時間をかけて松崎の細やかな言葉使いを楽しみたい◇同人諸氏が書くことを継続し、『とい』にも投稿されるように切に願う。<<>